フォーサイド グループ
2025年12月期 第2四半期
決算説明資料

補足説明資料

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

2025年12月期 第2四半期　連結業績ハイライト

（単位：百万円）

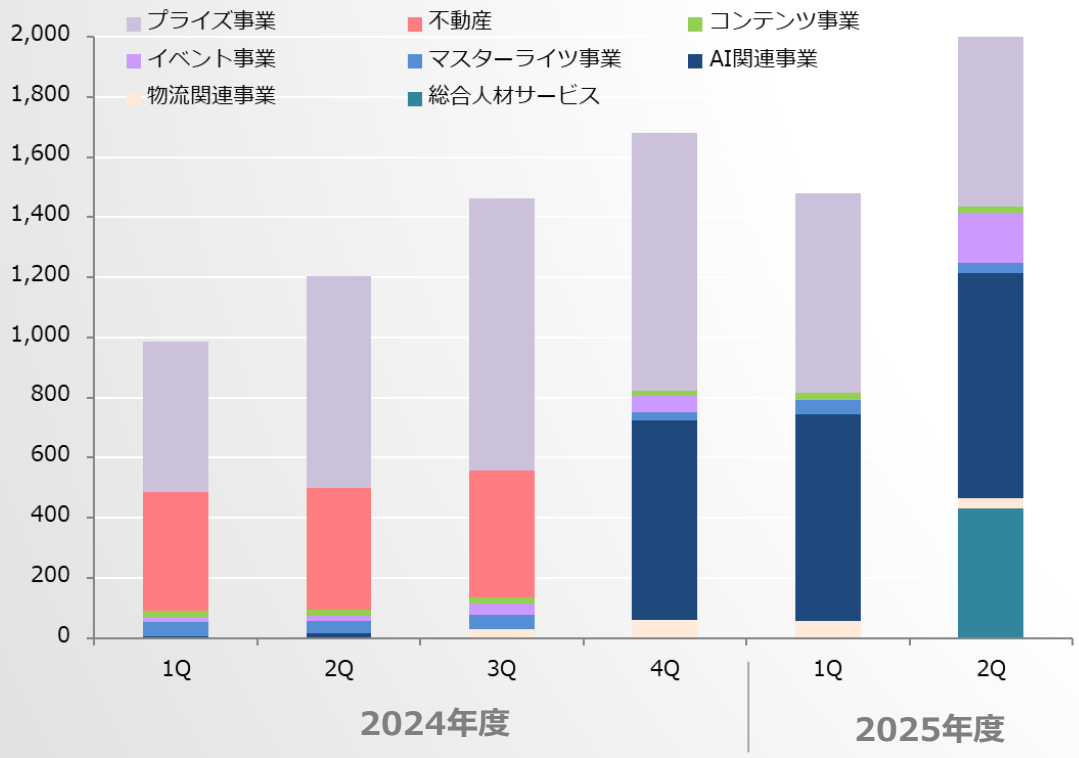
	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	2,196	3,753	170.9%	**＜営業収益＞** プライズ事業の受注が好調に推移したほか、イベント事業で開催した大型イベントが非常に好況であったことに加え、前第4四半期から開始したAI関連事業におけるGPUサーバー販売が好調に推移すると伴に、当第2四半期から開始した総合人材サービス事業及び前第3四半期に開始した物流関連事業の受注も堅調に推移した結果、前年度に撤退した不動産関連事業の売上減を上回り、前年同期比で増収となった。
売上総利益	935	870	93.1%	
販売管理費	1,003	681	68.0%	
営業利益	△68	188	―	**＜営業利益・経常利益＞** 不動産関連事業からの撤退で貸倒引当金繰入額を含む販売管理費を大幅に圧縮。 また、プライズ事業やイベント事業、AI関連事業が好調に推移し、物流関連事業においても堅調に利益を獲得。 その結果、前年同期を大きく上回った。
経常利益	△60	197	―	
親会社株主に帰属する中間純利益	△75	172	―	**＜中間純利益＞** 営業利益・経常利益を堅調に積み上げた結果、前年同期を大きく上回った。

プライズ事業・イベント事業・AI関連事業が前年同期比で好調に推移、また、
総合人材サービス事業や物流関連事業も堅調に推移し、営業収益が大幅に増加。
不動産関連事業からの撤退による販売管理費の圧縮もあり、営業利益が大幅に増加。

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

営業収益の成長推移

（単位：百万円）



プライズ事業、イベント事業、AI関連事業が好調に推移。
また、物流関連事業、総合人材サービス事業が堅調に推移した結果、営業収益は前年同期を大きく上回った。

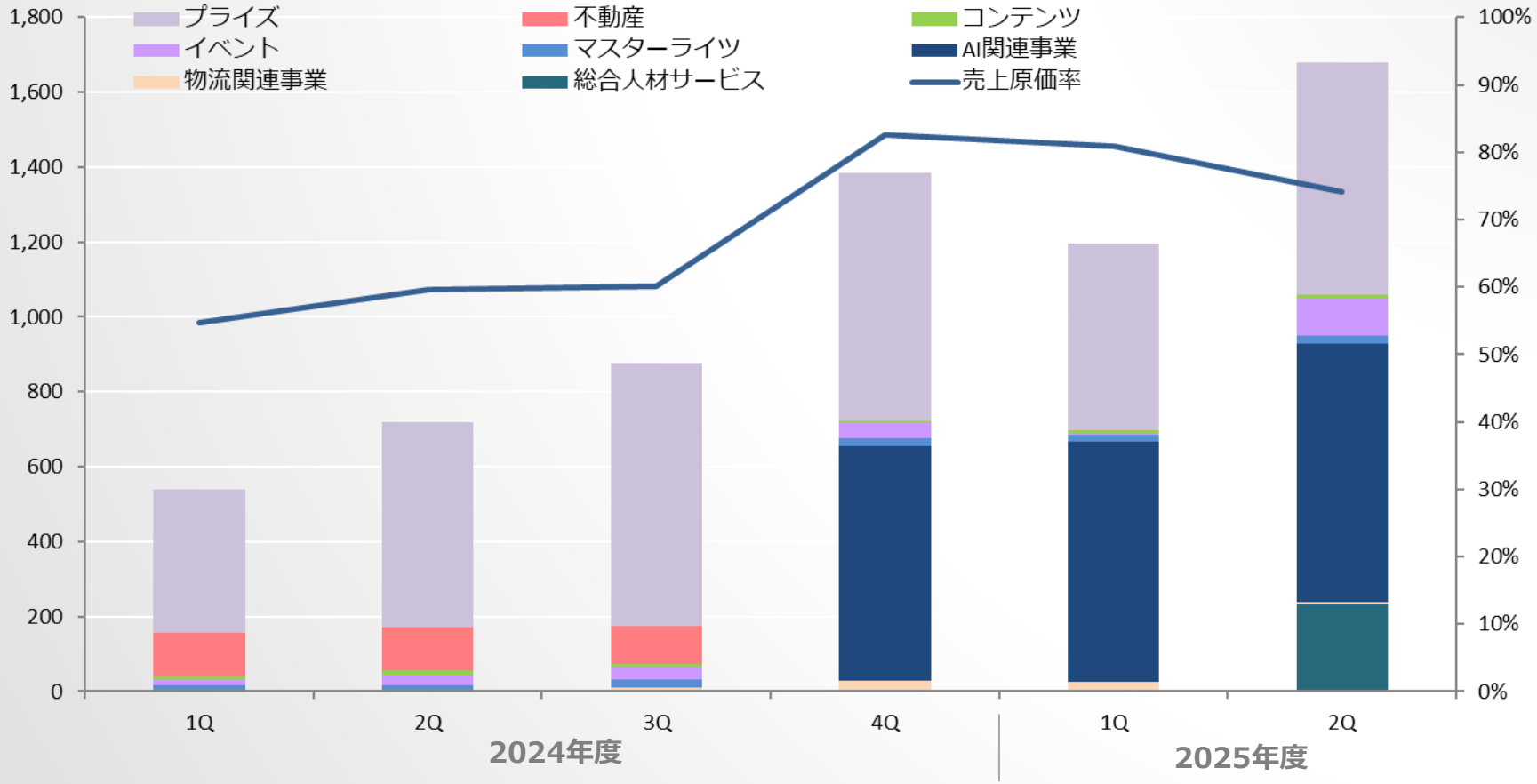
セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	外国人観光客の増加による需要などもあり、キャラクターグッズや雑貨系商材を中心に受注件数が好調に推移。さらにコスト低減に努めた結果、増収増益。
コンテンツ事業	電子書籍サイト「モビぶっく」において新規顧客の獲得、顧客継続率を高めるための施策を実施した結果、増収。損失も改善。
イベント事業	開催した大型イベントが盛況のうちに閉幕し、増収増益。
マスターライツ事業	「Popteen専属モデルオーディション」、「ポップキューフェス2025」といったイベントを開催し収益獲得に努めたほか、女子小学生向け雑誌「Cuugal」の販売が堅調に推移したものの、大型の収益にはつながらず、減収。損失も拡大。
AI関連事業	AI開発等に利用されるGPUサーバーの販売が順調に推移したことに加えて、GPUサーバー販売代理による手数料収入を計上。 その他、売上計上には至っていないものの、AIを活用した退院サマリー自動作成ツールのローンチが完了し、第3四半期にて売上計上予定。 その結果、増収増益。
物流関連事業	2024年8月に子会社を買収し、当事業を開始。当期に取引先の見直しを行った結果、取扱高は減少したものの、貨物利用運送事業が安定的に利益を獲得したほか、一般貨物自動車運送事業についても収益性の高い案件に注力したことにより、堅調に利益を計上。
総合人材サービス事業	2025年3月に子会社を買収し、4月から当事業を開始。既存顧客の需要開拓、派遣事業・ITソリューション事業において新規顧客の開拓を積極的に実施した結果、売上高は堅調に推移。 のれん償却費が利益を圧迫したものの、僅かに利益を計上。

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

売上原価の推移

（単位：百万円）

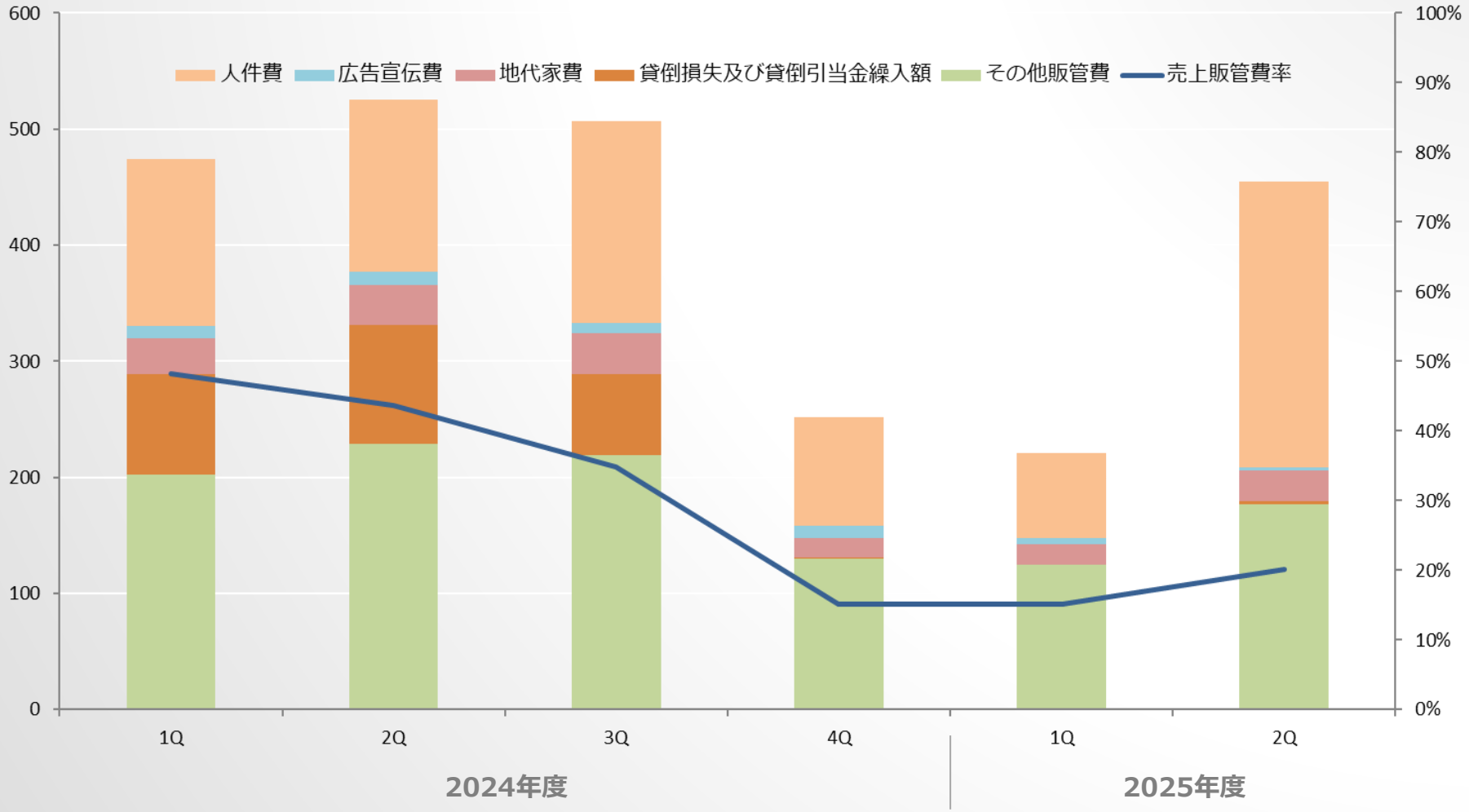


プライズ事業では、輸送費や原材料費が高騰する中、原価低減に努め、前年度比で原価率が低下。
一方で、AI関連事業におけるサーバー販売を前第4四半期から開始したことに伴い、全社における売上原価率は上昇。

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

販売管理費の推移

（単位：百万円）



前第4四半期に不動産関連事業から撤退したことにより、貸倒引当金繰入額が大幅に減少。
一方で、当第2四半期に総合人材サービス事業を開始したことにより、人件費が増加したものの、
売上高販管費率は前年同期と比較して大きく低下している。

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2024年度末	2025年度 第2四半期	増減金額	主な増減要因･傾向
資　産	3,565	5,452	1,886	現金及び預金の増加880百万円、のれんの増加315百万円、前渡金の増加205百万円、短期貸付金の増加191百万円、保険積立金の増加147百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,886百万円の増加となった。
負　債	1,065	2,649	1,584	前受金の増加978百万円、長期借入金の増加368百万円、1年以内返済予定の長期借入金の増加126百万円、未払金の増加119百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,584百万円の増加となった。
純資産	2,499	2,802	302	自己株式の減少185百万円、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加172百万円等により、前連結会計年度末に比べ302百万円の増加となった。

（注） 2025年7月31日現在、発行済株式総数は43,687,704株（うち自己株式95,294株）

2025年3月31日に株式会社antzを買収したことにより、資産、負債が増加。
また、自己株式の処分及び中間純利益の計上により、純資産は増加。

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

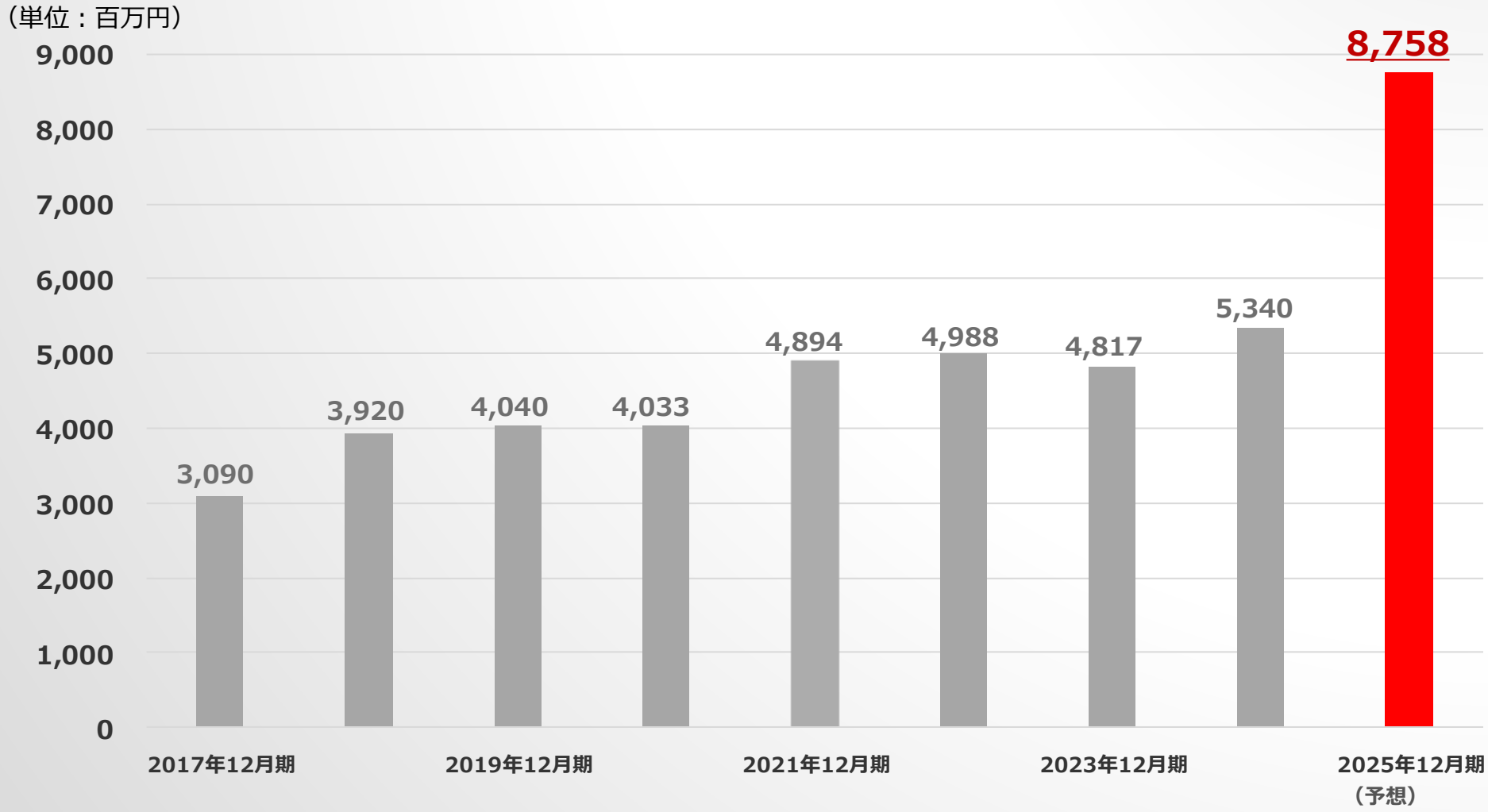
2025年12月期の業績見通し

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

連結営業収益（通期予想）

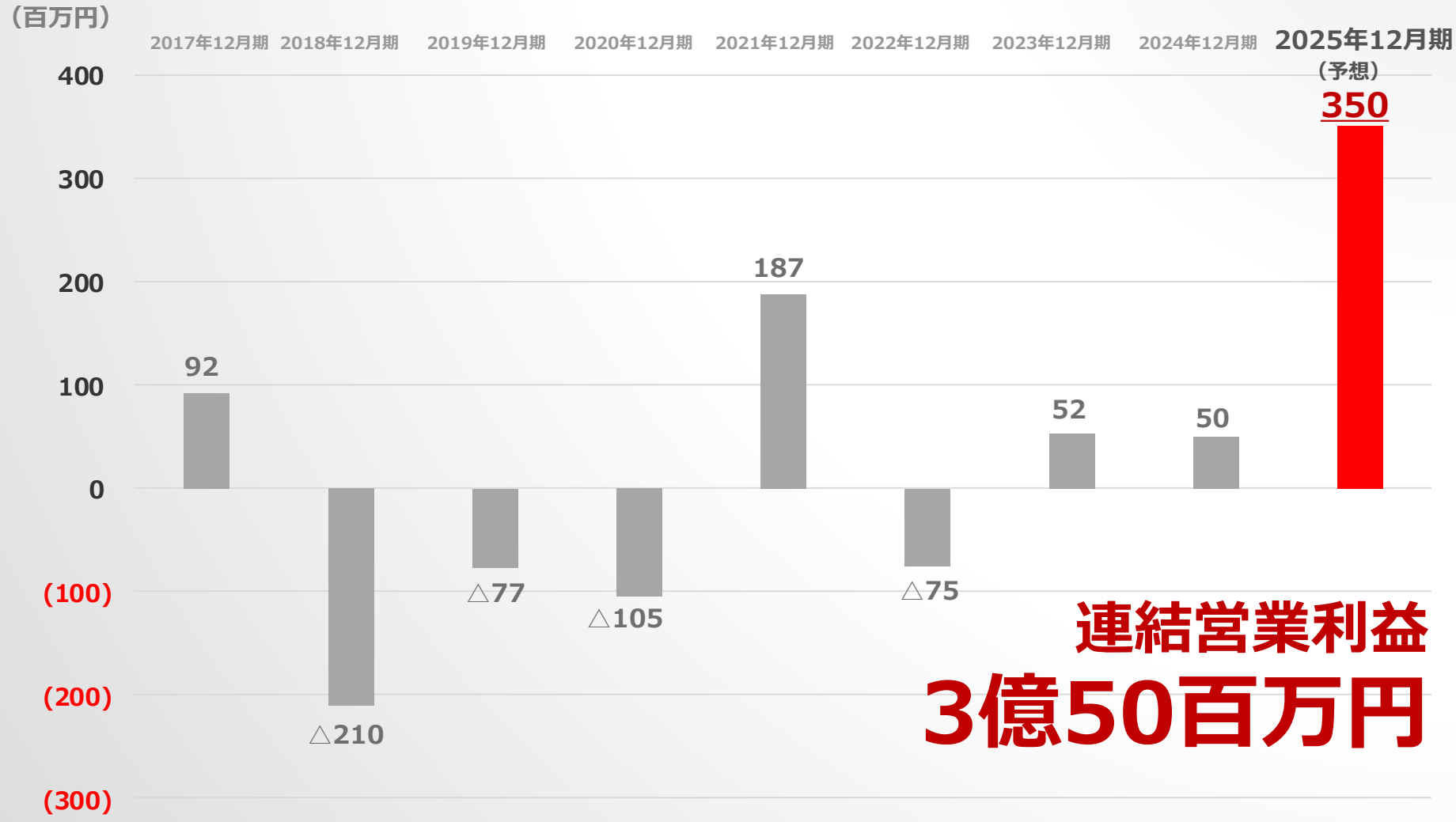
連結営業収益87億58百万円

（前年比64.0%増）



©2025 FORSIDE CO.,LTD.

連結営業利益（通期予想）



©2025 FORSIDE CO.,LTD.

参考資料（グループ概要）

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

フォーサイドグループ概要

会 社 名	**株式会社フォーサイド**　（持株会社）
所 在 地	〒103-0022　東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階
設 立 日	2000年3月31日（2002年10月10日 JASDAQ上場　証券コード2330）
資 本 金	10,000,000円（2025年8月13日現在）
経 営 陣	代表取締役　大島　正人　　常務取締役　佐々木　博司 取締役　根津　孝規　　取締役　泉　信彦 取締役　渡邊　孝行 監査等委員　田﨑　司郎　　監査等委員　田辺　一男　　監査等委員　瀬山　剛
顧　　問	法律顧問　TMI総合法律事務所
事　　業	株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
主な子会社 （2025年8月13日現在）	・㈱ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営 ・㈱ポップティーン：電子書籍配信事業/出版事業 ・㈱AI Tech Solutions：AIツール開発/AI開発支援用サーバー販売、販売代理 ・㈱エム：一般貨物自動車運送事業/貨物利用運送事業 ・㈱antz：総合人材サービス事業/運送事業/ITソリューション事業

©2025 FORSIDE CO.,LTD.

―免責事項について―

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。
実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。
かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。
なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。

©2025 FORSIDE CO.,LTD.